専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書

講座の名称	作業療法科						
実施方法	① 通学 (昼間 夜間 ・ 土日) ② 通信 スクーリング(回数 回)						
指定講座番号(15桁)	4010087	—	2620011	—	7		
講座の創設年月日 平成20年 4月 1日	専門実践教育訓練給付金対象講座の指定期間 令和11年 9月30日まで	過去一年の講座実績	入講者数(25人)	修了者数(14人)			
訓練期間	48ヶ月		総訓練時間	3,530時間			

1. 教育訓練目標

①取得目標とする資格の名称、目標レベル	☑ 業務独占資格・名称独占資格 (作業療法士) ☐ 職業実践専門課程 ( ) ☐ キャリア形成促進プログラム ( ) ☐ 専門職大学院 ( ) ☐ 職業実践力育成プログラム ( ) ☐ 情報通信技術関係資格 ( ) ☐ 第四次産業革命スキル習得講座 ( ) ☐ 専門職大学、専門職短期大学、専門職学科 ( )
	教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等 福祉住環境コーディネーター、障がい者スポーツ指導員
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	厚生労働省
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	学校教育法第90条第1項の規定により大学に入学することができる者で、文部科学大臣又は厚生労働大臣が指定した学校又は厚生労働大臣が指定した作業療法士養成施設において、3年以上作業療法士として必要な知識及び技能を修得した者。
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されておいる業界と活用状況	職種:作業療法士 職務:作業療法士業務<作業療法(身体又は精神に障害のある者に対し、主としてその応用的動作能力又は社会的適応能力の回復を図るため、手芸、工作その他の作業を行なわせる)、ADL(日常生活動作)訓練、IADL(手段的日常生活動作)訓練、福祉用具の使用等訓練>・作業療法士養成機関教員等 業界:医療<病院、診療所>・福祉<児童福祉施設、障害福祉サービス事業所>・介護<老人保健施設、通所リハビリテーション>・行政保健<保健所、地域包括支援センター、刑務所(社会復帰促進センター)>・教育<特別支援学校、教育委員会、作業療法士養成施設>等 活用状況:名称独占の国家資格であるが、高齢化に伴う地域リハビリテーション分野や介護分野の需要が高く、特に訪問リハビリテーション、介護施設、精神科、小児分野で人材が不足している傾向があり、就業機会が拡大している。

2. 教育訓練の内容

教科 (カリキュラム)	時間	使用教材名
別添「教育課程及び卒業要件単位数」のとおり		

3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)

①受講するに当たって必要な実務経験等	特になし。
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	高等学校または中等教育学校卒業以上の者またはこれらの学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。
③その他	

〔特記事項〕

専門実践教育訓練明示書

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1)資格取得状況

① 前年度(2025年度)の修了者数	14	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	25	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	14	人	受験率(③/②)	56.0	%
④ ③のうち合格者数	14	人	合格率(④/③)	100.0	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	14	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	0	人	就職・在職率(⑤+⑥/②)	56.0	%

※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。
この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。

※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、
修了後に別の職に転職した者。

(2)受講修了者による講座の評価等 [令和8年10月1日からの指定により「該当なし」]

① 回答者総数		人	
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	人	②A:就業者計
	2 非正社員、派遣社員	人	
	3 その他の就業(自営業等)	人	
	4 非就業	人	②B:非就業者計
③ 受講開始前と現在の就業先の変化	1 受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)
	2 受講開始時の就業先と現在の就業先(自営業等含む)は異なる(転職)	人	
	3 受講開始時は就業していたが、現在は就業していない	人	
④ 受講後の就業形態	1 正社員	人	④A:就業者計
	2 非正社員、派遣社員	人	
	3 その他の就業(自営業等)	人	
	4 非就業者	人	④B:非就業者計
⑤ 受講後の賃金変化	1 3割以上増加した	人	⑤の回答数合計 ※④Aと同数(又はそれ以下)
	2 1割以上3割未満増加した	人	
	3 1割未満増加した	人	
	4 変わらない	人	
	5 1割未満減少した	人	
	6 1割以上3割未満減少した	人	
	7 3割以上減少した	人	
⑥ 講座の受講の効果	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	人	⑥の回答数合計
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	人	
	3 社内外の評価が高まる	人	
	4 早期に転職・再就職できる	人	
	5 希望の職種・業界に転職・再就職できる	人	
	6 より良い条件(賃金等)で転職・再就職できる	人	
	7 趣味・教養に役立つ	人	
	8 その他の効果	人	
	9 特に効果はない	人	
⑦ 受講開始時に就業していなかった受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	人	⑦の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	人	
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	人	
	4 就職していない	人	
⑧ 講座の全体評価	1 大変満足	人	⑧の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)
	2 おおむね満足	人	
	3 どちらとも言えない	人	
	4 やや不満	人	
	5 大いに不満	人	

(3)受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価 等)

5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	ペーパーテスト、演習及び課題提出。
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	

専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書

6. 受講効果の把握方法	
(1)受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的基準)	出席率66%(2/3)以上、試験合格得点率60%以上で合格。補講・追試は認める。
(2)受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	ペーパーテスト、演習および課題提出。
(3)修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	出席率66%(2/3)以上、試験合格得点率60%以上で合格。補講・追試は認める。
(4)修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	卒業単位を満たすこと。
7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法	
(1)受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	担任制をとり、定期的な面談を行い習熟度を把握する。習得度・理解度の低い学生には適宜、個別指導・補習を実施する。
(2)受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例:資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	通常科目以外にも国家試験対策授業を実施する。また、模擬試験を定期的に行い到達度を把握する。就職については担任と専門のスタッフ(キャリアセンター)が連携しバックアップする。
8. その他の事項	
指定教育訓練実施者名及び代表者名	学校法人滋慶学園　（代表者名: 浮舟　邦彦 ）
住所及び連絡先	東京都江戸川区東葛西六丁目16番2号　TEL　03-5878-3311
施設名称及び施設長名	福岡医健・スポーツ専門学校　（施設長: 古谷野　潔 ）
住所及び連絡先	福岡県福岡市博多区石城町7番30号　TEL　092-262-2119

苦情受付者	氏名　松原　敏昭　所属　教務部	事務担当者	氏名　峯田　智子　所属　教務部
連絡先	TEL　092-262-8664	連絡先	TEL　092-262-8664

専門実践教育訓練経費			
支払い方法 ①一括払 **②分割払** ③両方可能	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 （① ＋ ②）		5,711,082 円
	① 入学料（税込額） （※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。）		300,000 円
	② 受講料（税込額） （※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。）		5,411,082 円
		第1期	774,802 円
		第2期	690,560 円
		第3期	647,500 円
		第4期	675,880 円
		第5期	647,500 円
		第6期	679,840 円
		第7期	647,500 円
		第8期	647,500 円
		（うち、必須教材費	331,082 円 ）
	2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 （① ＋ ② ＋ ③ ＋ ④）		783,100 円
	① 任意の教材費(税込額)		0 円
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)		0 円
	③ 施設維持費(税込額)		600,000 円
	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代）（税込額）		183,100 円
	3. 総額 （1＋2） （税込額）		6,494,182 円

作業療法科　　教育課程及び卒業要件単位数

分野	教育内容	授業科目	授業形態	必修選択自由	単位	時間	卒業要件単位数	標準履修学年
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解	心理学	講義	必修	2	30	17	1
		医学総論Ⅰ	講義	必修	1	15		1
		医学総論Ⅱ	講義	必修	1	15		3
		物理学	講義	必修	1	15		1
		生物学	講義	必修	2	30		1
		情報処理学Ⅰ	演習	必修	2	30		1
		情報処理学Ⅱ	演習	必修	1	15		3
		人間関係論Ⅰ	講義	必修	1	15		1
		人間関係論Ⅱ	講義	必修	1	15		3
		国際教育学Ⅰ	講義	必修	2	30		1
		国際教育学Ⅱ	講義	必修	1	15		1
		文章表現	講義	必修	2	30		1
	小　計		－	－	17	255	17	－
専門基礎分野	人体の構造と機能 及び心身の発達	解剖生理学Ⅰ	講義	必修	2	30	49	1
		解剖生理学Ⅱ	講義	必修	2	30		1
		解剖生理学Ⅲ	講義	必修	2	30		1
		解剖生理学Ⅳ	講義	必修	2	30		1
		機能解剖学Ⅰ	演習	必修	2	30		1
		機能解剖学Ⅱ	演習	必修	2	30		1
		運動学Ⅰ	演習	必修	2	30		1
		運動学Ⅱ	演習	必修	2	30		1
		人間発達学	講義	必修	2	30		1
	疾病と障害の成り立ち 及び回復過程の促進	病理学	講義	必修	2	30		1
		臨床心理学	演習	必修	2	30		1
		内科学	講義	必修	2	30		2
		一般臨床医学Ⅰ	講義	必修	2	30		2
		一般臨床医学Ⅱ	講義	必修	1	15		2
		一般臨床医学Ⅲ	講義	必修	2	30		2
		整形外科学Ⅰ	講義	必修	2	30		2
		整形外科学Ⅱ	講義	必修	2	30		2
		神経内科学	講義	必修	2	30		2
		精神医学	講義	必修	2	30		1
		小児科学	講義	必修	2	30		2
		リハビリテーション医学	講義	必修	2	30		2
	保健医療福祉と リハビリテーションの理念	リハビリテーション概論	講義	必修	2	30		1
		社会福祉論	講義	必修	2	30		1
		職業関連技術論	講義	必修	2	30		2
		チーム医療論	講義	必修	2	30		3
	小　計		－		49	735	49	－
専門分野	基礎作業療法学	作業療法概論	講義	必修	2	30	121	1
		基礎作業学Ⅰ	講義	必修	2	30		1
		基礎作業学Ⅱ	実技	必修	2	60		1
		基礎作業学Ⅲ	演習	必修	1	15		2
	作業療法管理学	作業療法管理学	講義	必修	2	30		3
	作業療法評価学	作業療法評価学Ⅰ	演習	必修	4	60		1
		作業療法評価学Ⅱ	演習	必修	4	60		2
		作業療法評価学Ⅲ	実技	必修	2	60		2
	作業療法治療学	身体障害治療学Ⅰ	講義	必修	2	30		2
		身体障害治療学Ⅱ	講義	必修	2	30		2
		身体障害治療学Ⅲ	演習	必修	2	30		3
		精神障害治療学Ⅰ	講義	必修	2	30		2
		精神障害治療学Ⅱ	講義	必修	4	60		2
		精神障害治療学Ⅲ	演習	必修	2	30		3
		発達障害治療学Ⅰ	講義	必修	2	30		2
		発達障害治療学Ⅱ	演習	必修	4	60		3
		老年期障害治療学Ⅰ	講義	必修	2	30		2
		老年期障害治療学Ⅱ	講義	必修	2	30		3
		日常生活活動学Ⅰ	講義	必修	4	60		2
		日常生活活動学Ⅱ	演習	必修	4	60		2
		高次脳機能障害治療学Ⅰ	講義	必修	2	30		2
		高次脳機能障害治療学Ⅱ	講義	必修	2	30		3
		義肢装具学	講義	必修	2	30		3
	地域作業療法学	地域作業療法学Ⅰ	講義	必修	2	30		2
		地域作業療法学Ⅱ	演習	必修	2	30		2
	臨床実習	臨床見学実習	実習	必修	1	40		2
		臨床評価実習	実習	必修	5	200		3
		臨床実習Ⅰ	実習	必修	10	400		3
		臨床実習Ⅱ	実習	必修	10	400		4
	その他	作業療法特論Ⅰ	演習	必修	1	15		1
		作業療法特論Ⅱ	演習	必修	1	15		1
		作業療法特論Ⅲ	演習	必修	1	15		2
		作業療法特論Ⅳ	演習	必修	1	15		2
		作業療法特論Ⅴ	演習	必修	1	15		3
		作業療法総合演習Ⅰ	演習	必修	4	60		4
		作業療法総合演習Ⅱ	演習	必修	4	60		4
		作業療法総合演習Ⅲ	演習	必修	4	60		4
		作業療法総合演習Ⅳ	演習	必修	4	60		4
		作業療法総合演習Ⅴ	演習	必修	4	60		4
		作業療法総合演習Ⅵ	演習	必修	4	60		4
		作業療法総合演習Ⅶ	演習	必修	4	60		4
		＜※＞海外実学研修	演習	選択	1	15		2
		＜※＞国際リハビリテーションセミナー	演習	選択	1	15		2
	小　計		－	－	121	2,540	121	－
合　計			－	－	187	3,530	187	－

＜※＞どちらかを選択。 よって実質総訓練時間は、3,515時間です。